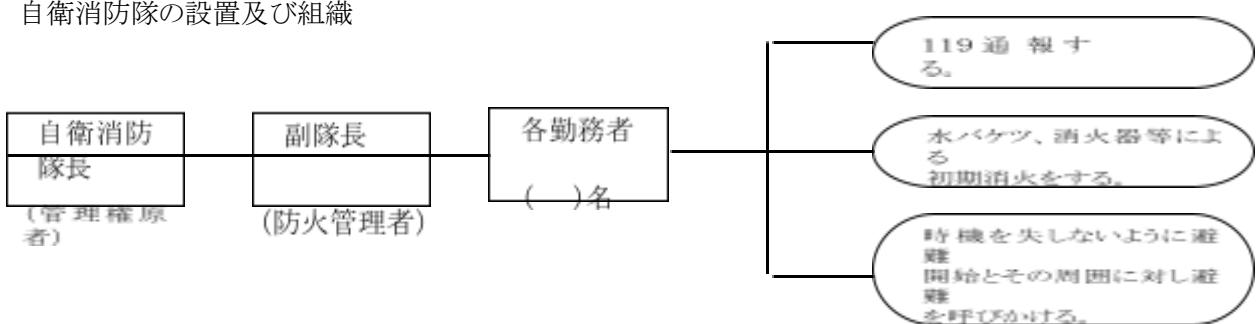


消防計画

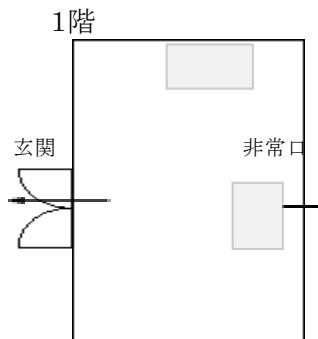
年 月 日 (小規模用-1)

1 自衛消防隊の設置及び組織



(記載例)

・避難計画は次のとおりとする。



2 避難計画概要

3避難通路等の確保

- ・法令の定めるところにより、避難通路等の確保は次のとおり行う。
 - ① 階段、廊下には物品を置かない。
 - ② 避難経路となる部分は常に整理整頓し、避難の支障にならないようとする。
 - ③ 非常口は施錠しない。
 - ④ 防火戸は正常に作動するよう平素から機能保持に努める。
 - ⑤ 防火戸の前に物品等を放置しない。
 - ⑥ そのほかの必要事項については、社(店)内防火規則に定める。
 -

4避難及び避難誘導

- ① 大声で皆に知らせる。
 - ② 物品持出しに気をとられない。
 - ③ 一度避難したら二度と出火建物に入らない。
 - ④ 落ち着いて避難経路を考える。
 - ⑤ 避難器具の使用も考える。
 - ⑥ 必要に応じて、タオル・マスク等を使用する。
 - ⑦ いたずらに騒ぎたて、無秩序な行動にならないようにする。

○○○○○○○○ を実施

5 通報連絡		6 消火活動		7 消防隊誘導	
① 非常ベルを鳴らす。 ② 119に通報する。 ③ 社(店)内電話を使えない場合の通報方法を考えておく。 ④ 通報の内容は「火事です。○市・町○○番地○○○です。近くに○○があります。大きく燃えています。(少し煙が出ています。)」等とする。 ○	① 大声で皆に知らせる。 ② 叩き消し、水バケツ、砂等を使用する。 ③ 消火器を使用する。 ④ 天井に燃え移ったら初期消火は中止して避難する。 ⑤ 火を見てもあわてず落ち着いて行動する ○	① 消防車両を誘導する。 ② 消防隊員を誘導する。 ③ 消防隊員に出火場所、危険物品の存否、避難状況、その他消火活動上必要な情報を伝える。 ○			
○○○○○○ を実施	○○○○○○○○ を実施	○○○○○○ を実施			
8 避難・通報・消防訓練計画	・消防訓練の内容は次のとおりとする。 ① 消火器訓練(消火器による模擬火災の消火をする。) ② 水バケツ、水道ホースによる消火訓練(手近な水を利用する訓練を行う。) ③ 通報訓練(社(店)内の電話、その他による119への通報訓練を行う。) ④ 避難訓練(避難器具の使用、非常ベルの使用、各室から扉、窓を閉鎖しての避難訓練を行う。) ⑤ 総合消防訓練(消防隊と協力して訓練を行う。) ○	・訓練実施上の注意事項 ① 年1回ないし2回以上実施する。 ② 消防訓練は写真等ができるだけ記録しておく。 ③ 隨時又は新入社員等の採用時に必要な防災教育を行う。 ④ 訓練実施時には予め消防署へ通報する。 ⑤ 特に避難訓練については安全上の配慮を行う。 ○	○○○ ○○○	(実施日) 月 日、 月 日 月 日、 月 日	
○○○○○○○○ を実施					
9 消防用設備等及び点検計画	① 消防用設備等の外観点検及び機能点検を6か月ごとにし、総合点検を1年目にあわせて実施する。 ② その点検結果を毎年 月に消防署へ報告する。 ③ その点検結果を3年に1度 月に消防署へ報告する。 ④ 上記の法定点検は(自社、委託)で行い、委託の場合の委託先は右のとおりである。 ○	消防用設備等 消火器 非常ベル 漏電火災警報器 自動火災報知設備 設備名	設置は○印 避難器具	誘導灯 点検委託業者名	
○○○○○○○○ を実施					
10 火気管理等	① 各部署ごとに火元責任者を定め、法令の定めるところにより喫煙、裸火、厨房、ボイラーなどの火気管理を行わせ、その業務の実施について必要な事項は社(店)内防火規則に定める。 ② 日常消防用設備等の自主点検を行い、その内容、方法については社(店)内防火規則に定める。 ③ 防火管理台帳を常に整理し、防火管理について必要な記録をする。 ○	○○○○○○	○○○○○○		
○○○○○○ を実施					

特
記
事
項